



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 アイティフォー
 コード番号 4743 URL <http://www.itfor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 東川 清
 (氏名) 中山 かつお
 TEL 03-5275-7841

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,393	4.1	619	9.7	693	7.0	419	16.2
29年3月期第3四半期	7,705	3.2	685	1.9	744	0.4	500	4.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 712百万円 (4.8%) 29年3月期第3四半期 748百万円 (117.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	14.77	14.76
29年3月期第3四半期	17.60	17.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	14,877	12,339	82.9	433.80
29年3月期	14,919	12,088	80.9	425.91

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,327百万円 29年3月期 12,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		17.00	17.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、従来より、連結配当性向30%以上を目標に、期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。今後ともこの配当方針に基づく配当を実施してまいりますので、期末配当金及び年間配当金の記載を「-」と表記しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	17.0	1,700	33.8	1,750	31.5	1,150	26.9	40.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	29,430,000 株	29年3月期	29,430,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	1,012,464 株	29年3月期	1,077,922 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	28,383,852 株	29年3月期3Q	28,443,862 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心とした生産活動の持ち直しや、都市部での再開発需要の高まり、インバウンド需要の持ち直しなどから回復傾向にあります。今後についても、良好な雇用所得環境を背景とした個人消費の回復、企業収益の回復と人手不足を背景とした合理化・省力化へのニーズから堅調な推移が見込まれる設備投資、五輪関連の建設需要などが景気回復要因として考えられます。しかしながら、海外においては欧米諸国の政権運営に不透明感があることや、北朝鮮情勢の緊迫化などが懸念材料となっており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、金融や流通分野での制度対応としてのシステム更新のほか、戦略投資としてのIT投資案件が増加しており、AIやIoT技術を利用した新しいビジネスの伸展、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を活用した「働き方改革」に寄与する業務合理化、フィンテックによる新たなサービスの提供などへのニーズの高まりを背景に、市場環境は引き続き良好な状態が続くものと思われれます。

このような環境下、当社グループでは、お客様への幅広いソリューションやサービスの提案・提供、既存ソリューションの成長に加え新規のソリューションやサービスの開発、決済クラウド「iRITSpay（アイ・リッツペイ）」やRPAなどの戦略商品の拡大、新技術の取得によるソリューションの強化や新規事業の発掘などに取り組んでおります。主力商品である金融機関向けプロダクトは、金融機関の収益環境が人口減やマイナス金利により厳しい状況となる中、収益源の多様化や業務の効率化を進めていくためのソリューションとして積極的に営業活動を行ってきました。その一環として、Web申込みとタブレット端末からの申込み機能を持ち、審査判定、審査後の契約管理と融資実行、途上与信管理までを一元管理する業界初のトータルシステム「SCOPE 個人ローン業務支援システム」の販売を開始しました。RPAにおいては、5月の組織変更により担当人員を増強したことに加え、複数事業部で協業して提案活動を行うことでの受注拡大に取り組んでおります。小売業向け基幹システムやECサイト構築システムでは、前期に受注したギフト商品のECシステムが順調に稼働を開始しました。また、公共分野においては、地方自治体でのBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）業務や学務支援システム案件で新規に受注を獲得しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,393百万円（前年同期比95.9%）、営業利益は619百万円（前年同期比90.3%）、経常利益は693百万円（前年同期比93.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は419百万円（前年同期比83.8%）となりました。

なお、当社グループでは、顧客への出荷や納期が9月および3月に集中する傾向があります。

当社グループは、システムインテグレーターとして顧客の業態やニーズに応じたソフトウェアを開発し、システム機器や関連商品と併せて提供するほか、情報通信ネットワークの構築・運用管理や保守サービスに至るITソリューション・サービスを行うとともにBPOなどを行っております。

当第3四半期連結累計期間の受注高は8,144百万円（前年同期比113.6%）、受注残は8,110百万円（前年同期比111.1%）となりました。また、セグメント別の営業概況は次のとおりです。

(システムソリューション)

システムソリューションでは、SCOPEにおいて、その拡張機能であるサイトにおける個人ローンの受付から電子契約まで可能なWeb完結型システムをノンバンクから受注しました。更には主力商品である地方銀行向け総合債権管理システムとSCOPEについても共同化向け対応を行ったシステムを新たに複数行から受注しております。また、新規に受注をしておりました地方銀行向けのRPAについても本格稼働し、併せて地方銀行からの業務受託（BPO）についても運用を開始しております。コールセンター向けソリューションにおいては、流通系カード会社において、入金案内業務でのロボティックコールを新規に受注し、RPAにおいても大手通信会社や貸貨保証会社で新規に受注を獲得したほか、地方銀行をはじめとする既存顧客からも継続的なロボット構築を受注しました。小売業向けでは、昨年度に受注した地方百貨店における基幹システムRITSpayや新型POSシステムが11月に稼働したほか、戦略商品であるiRITSpayも既存ユーザーを含めて積極的な販売活動を行っております。ECサイト構築システムにつきましては専門店から「ITFOReC」等を新規に受注しました。

その結果、受注高は5,055百万円（前年同期比122.9%）、売上高は3,652百万円（前年同期比91.9%）、セグメント利益は898百万円（前年同期比86.7%）となりました。

(サービスソリューション)

サービスソリューションでは、安定収益源である保守サービスや公共分野向けビジネスを中心に活動しています。注力市場として取り組んでいる公共分野向けビジネスは、前期に受注を獲得したBPO案件が期初から売上に寄与しており、順調に拡大していますが、前期に大型BPO案件を獲得した反動で、受注は伸び悩んでおります。

その結果、受注高は1,693百万円（前年同期比95.7%）、売上高は2,413百万円（前年同期比106.7%）、セグメント利益は292百万円（前年同期比198.0%）となりました。

(基盤ソリューション)

基盤ソリューションでは、システム機器販売、基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステム、クラウド基盤関連ソリューションの提供を事業展開しています。複数事業部で幅広い提案活動を行うことで顧客層の拡大に取り組んでおり、大型のシステム構築案件獲得もあり受注は前年同期を上回りました。ただし、大手モバイル通信キャリア向け案件の投資が一段落したことなどから前期末受注残が大幅に減少した影響で、足元の売上高は伸び悩んでおります。

その結果、受注高は1,407百万円（前年同期比109.1%）、売上高は1,339百万円（前年同期比91.1%）、セグメント利益は246百万円（前年同期比106.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,877百万円となり、前連結会計年度末に比べて41百万円減少いたしました。流動資産は10,388百万円となり、118百万円減少いたしました。主な原因は、たな卸資産が429百万円、有価証券が299百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が839百万円減少したことなどです。固定資産は4,489百万円となり、77百万円増加いたしました。主な原因は、無形固定資産のその他が225百万円減少しましたが、投資有価証券が時価評価などにより383百万円増加したことなどです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,538百万円となり、前連結会計年度末に比べて293百万円減少いたしました。流動負債は2,051百万円となり、394百万円減少いたしました。主な原因は、未払法人税等が195百万円、賞与引当金が165百万円減少したことなどです。固定負債は486百万円となり、100百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は12,339百万円となり、前連結会計年度末に比べて251百万円増加いたしました。主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により419百万円、その他有価証券評価差額金の増加により288百万円増加しましたが、剰余金の配当の支払により481百万円減少したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の80.9%から82.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、現時点での業績予想につきましては、2017年10月27日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,431,217	2,416,906
受取手形及び売掛金	2,351,896	1,512,558
有価証券	5,199,931	5,499,832
たな卸資産	220,686	650,269
その他	304,104	309,325
貸倒引当金	△73	△43
流動資産合計	10,507,763	10,388,850
固定資産		
有形固定資産	664,376	643,283
無形固定資産		
のれん	215,688	193,375
その他	892,847	666,868
無形固定資産合計	1,108,536	860,244
投資その他の資産		
投資有価証券	2,060,695	2,443,934
その他	578,370	541,607
投資その他の資産合計	2,639,065	2,985,542
固定資産合計	4,411,978	4,489,070
資産合計	14,919,741	14,877,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	851,515	819,592
未払法人税等	205,612	9,836
賞与引当金	290,663	125,189
その他	1,097,622	1,096,723
流動負債合計	2,445,413	2,051,341
固定負債		
役員退職慰労引当金	17,370	18,495
退職給付に係る負債	206,549	212,138
その他	162,191	256,289
固定負債合計	386,111	486,923
負債合計	2,831,524	2,538,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,340,615	1,337,635
利益剰余金	9,449,382	9,383,292
自己株式	△507,172	△476,385
株主資本合計	11,407,494	11,369,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677,287	965,971
繰延ヘッジ損益	164	362
退職給付に係る調整累計額	△9,398	△8,104
その他の包括利益累計額合計	668,053	958,229
新株予約権	8,720	5,286
非支配株主持分	3,948	6,927
純資産合計	12,088,216	12,339,655
負債純資産合計	14,919,741	14,877,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	7,705,809	7,393,550
売上原価	4,914,983	4,553,675
売上総利益	2,790,826	2,839,874
販売費及び一般管理費	2,105,527	2,220,839
営業利益	685,298	619,035
営業外収益		
受取利息	820	1,704
受取配当金	43,322	49,948
持分法による投資利益	3,105	4,174
その他	17,960	21,230
営業外収益合計	65,208	77,057
営業外費用		
支払手数料	4,944	2,825
その他	584	100
営業外費用合計	5,529	2,925
経常利益	744,978	693,167
特別利益		
新株予約権戻入益	14,191	1,580
特別利益合計	14,191	1,580
特別損失		
減損損失	—	35,699
事業整理損	—	27,916
特別損失合計	—	63,615
税金等調整前四半期純利益	759,170	631,132
法人税等	256,344	208,847
四半期純利益	502,825	422,285
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,233	2,978
親会社株主に帰属する四半期純利益	500,591	419,306

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	502,825	422,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	239,915	288,667
繰延ヘッジ損益	4,373	198
退職給付に係る調整額	1,302	1,294
持分法適用会社に対する持分相当額	△112	16
その他の包括利益合計	245,479	290,176
四半期包括利益	748,304	712,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	746,052	709,482
非支配株主に係る四半期包括利益	2,252	2,978

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システムソリューション」、「サービスソリューション」、「基盤ソリューション」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は以下のとおりです。

セグメント名称	内容
システムソリューション	パッケージソフトウェアに関する設計・開発から保守までの一貫したサービスの提供
サービスソリューション	カスタマーサービス、電話・訪問催告や窓口支援を行うBPOサービスの提供
基盤ソリューション	システム機器販売、基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステム、クラウド関連ソリューションの提供

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	システム ソリューショ ン	サービス ソリューショ ン	基盤 ソリューショ ン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,973,835	2,262,158	1,469,815	7,705,809	—	7,705,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,261	1,261	△1,261	—
計	3,973,835	2,262,158	1,471,076	7,707,071	△1,261	7,705,809
セグメント利益	1,036,732	147,524	231,536	1,415,792	△730,494	685,298

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△730,494千円は、セグメント間取引消去779千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△731,274千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	システム ソリューション	サービス ソリューション	基盤 ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,647,631	2,413,881	1,332,036	7,393,550	—	7,393,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,597	—	7,422	12,019	△12,019	—
計	3,652,228	2,413,881	1,339,459	7,405,570	△12,019	7,393,550
セグメント利益	898,436	292,053	246,319	1,436,810	△817,775	619,035

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△817,775千円は、セグメント間取引消去△621千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△817,153千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

「サービスソリューション」において、減損損失を35,699千円計上しております。